

令和4年度 第3回学校運営協議会 議事録

1 日時： 令和5年2月10日（金）14時15分～15時45分

2 会場： 大阪府立三国丘高等学校 校長室

3 出席者：

〔委員〕 田中満公子会長、今西邦夫副会長、井上博史委員、田中孝子委員
坂部弘重委員、（河野泰之委員：ご欠席）

〔学校側〕 藤井光正校長、福本美紀教頭、田中和代首席、吉田憲司首席、
長井一也教諭、大塚雅之教諭、宮根隆教諭、尾崎勇魚教諭、田中洋平教諭、
中村駿太教諭、小黒莉奈教諭、（稲村邦男事務部長：欠席）

4 次第

① 授業見学

② 校長挨拶

本日は、まず授業を見学（観察）していただきました。授業の感想も含めてご意見をいただければ幸いです。コロナの影響も徐々に少なくなっていますので、今後の本校教育活動の在り方についてもご助言いただければありがたいです。よろしく願いいたします。

③ 議事

(1)令和4年度学校評価および令和5年度学校経営計画、学校教育自己診断結果について（報告）

〔委員〕 高校入学当初から、いわゆる5大学をめざしている生徒はどのくらいいるのでしょうか。入学してから卒業するまでに自分の夢や目標を達成している生徒はどのくらいいるのか気になります。

〔学校〕 実際に入學当初から5大学をめざす生徒は、270名程度かと思われます。

〔委員〕 医学部等が主催するセミナーに生徒たちが参加していると思いますが、実際に医学部をめざす生徒は増えているのでしょうか。

〔学校〕 医学部医学科を志望する生徒は現役、浪人合わせても増加しています。今年は阪大医学部の研究室体験に9名参加しました。病院内にはコロナの関係で入ることはできませんでしたが、手術キットの体験や、臓器移植にかかわっている本校OBとの交流など、非常に充実した内容でした。

〔委員〕 進学希望者の変遷が分かれば、よりよい指導につながるのではないかと思います。先生方の取組の成果も見えやすくなるのではないのでしょうか。

〔学校〕 ご意見ありがとうございます。

〔委員〕 5大学というのは、具体的にどの大学を指しているのですか。

〔学校〕 東京大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、大阪公立大学を5大学と呼んでいます。

〔委員〕 「グローバルリーダー」の定義が気になりました。ここでは、「三丘スピリット、高い理想、発想力豊かである」という3点に重きを置いているということでしょうか。

〔学校〕 そうです。前回いただいた意見を参考に、このような文言にいたしました。

- 【委員】生徒に対するアンケート項目で、ICT 端末に関する肯定的意見が、88.6%ということでした。今日見学した授業ではクロームブックを使っている授業はなかったように思われましたが、どれくらいの先生が授業等で ICT 端末を活用しているのでしょうか。
- 【学校】生徒への連絡にクラスルームを活用しています。授業関連でいうと課題や連絡などで使っている場合が多いかと思います。さらに、ディベート、プレゼンテーション、ミニ探究など、探究活動でよく使っています。さらに今後は、理科の授業での ICT 機器を使った実験を考えています。
- 【委員】生徒の授業に対する満足度をさらに上げるために、何か先生方の中でディスカッション、アンケート等の取組はされているのでしょうか。
- 【学校】全職員を対象とした研修などは実施していませんが、授業アンケートの結果を返却し、各教科での検討をお願いしています。
- 【委員】どの科目もすごく素晴らしい授業だと感じました。さらなる高みをめざすために、どこをどう変えていくのかというのが大切だと思います。同じ科目の先生方で何か話していることがあれば、教えていただきたいです。
- 【学校】使用してよかったプリント教材等を教科の中で共有するようにしています。今後も続けていきたいと考えています。
- 【委員】生徒の授業に対する満足度というのは、テスト点数が良ければ上がってくるということなののでしょうか。
- 【学校】点数も大きな要因かと思います。
- 【委員】授業に対する満足度に関しては、全体的に平均点を上げていく、苦手な子にアプローチするという取組が重要かと思います。全体的に底上げしていく方策を先生方でお話ししていく必要があるのではないのでしょうか。教科の特性等がありますが、様々に工夫することで進学実績に結びつくのではないのでしょうか。
- 【委員】加えて、アンケート項目に補足説明を付けると、生徒も答えやすく、教員側の集計の負担も減るのではないのでしょうか。
- 【学校】頂戴した意見を参考に改善に努めていきます。

(2)各学年の状況について（報告）

- 【委員】3年生はいよいよ締めくくりの段階ですね。2年生は、学年通信にもあるように気持ちを切り替えて勉強に向かっていこうという雰囲気なののでしょうか。
- 【学校】修学旅行後から雰囲気が変わり、しっかりと勉強する生徒が増えてきました。
- 【委員】1年生に関しては、生徒が進路に対して控えめだということでしたが、1年生はまだあまり大学に興味がないのでしょうか。
- 【学校】大学に興味がないわけではないと思います。どちらかというと、自分の実力に自信がない生徒が多いような印象を受けます。
- 【委員】生徒にとって東京大学や京都大学などの大学は雲の上の存在なのかもしれないですね。他に生徒の特徴はありますか。
- 【学校】真面目に勉強して成績が良いというタイプの生徒が多いように感じます。何か一つのものに集中して取り組む、いわゆるマニアックなタイプの生徒が少ないような印象を受けます。
- 【委員】そのような特徴は本校だけなののでしょうか。

【学校】明確にはわかりませんが、他校でももしかしたらそのような傾向があるかもしれません。

【委員】保護者、生徒ともに現役合格をめざすようになってきているのかなと感じました。時代の閉塞感などが関係しているのでしょうか。

【学校】もしかしたらそのような傾向があるかもしれません。

【委員】自宅から通えるというのが大学選択の大きな理由になってきているのかもしれないですね。教員側から生徒に刺激を与えるような取組や声掛けを期待しています。

(3)スーパーサイエンスハイスクール今年度の取り組みについて（報告）

【委員】対面実施の取組が復活したというのが今年の大きなポイントですね。探究活動に関する研修会は大体何名ぐらいが参加されたのでしょうか。

【学校】3回開催し、20数名の参加がありました。

【委員】科学オリンピックで本選大会に出場したというのは、日本代表であるということなののでしょうか。

【学校】日本代表選定大会になります。いわゆる全国大会です。

(4)スーパーグローバルハイスクール今年度の取り組みについて（報告）

【委員】77期生のSGH応募者が例年より少ないという印象を受けます。要因は何だと考えますか。

【学校】円安がニュースで大きく取り上げられていたことだと考えています。海外研修等に関する費用の高騰を懸念している保護者の方も多いと感じました。

【委員】水フォーラムでの活躍を聞いて、同窓会の皆さんも喜んでいました。素晴らしい活躍ですね。

(5)進路状況について（報告）

【委員】進路に対して前のめりというか、教員側の指導が数字になってきているという印象を受けました。OBである大阪大学の先生が活躍されている今が、生徒にとっては刺激を受ける大きなチャンスなのかなと感じます。一人でも多くの生徒の刺激になっていれば幸いです。

(6)その他

特に質疑なし